

まちづくりネットワーク

まちづくり意見交換会

九月二十五日(土)に磐田NPO活動推進協議会主催による「まちづくり意見交換会」が開催され、会場となった磐田NPO交流センターには多くの参加者が集まりました。まちづくりサポーターやNPO法人、市民活動団体関係者から市民主体のまちづくりに関する議題が活発に討論されました。

ネットワークづくりへ

司会 一市三町一村の合併にからめて、ご意見を伺いたいと思います。

JC 市が大きくなるのだから各地域のボランティアや、まちづくりがより活発化していくことが大切。ネットワークを組んで力をあわせて市を活性化したい。防災も市民全体の力を強固にしていきたい。

磐田体育協会 市民は大きな影響を受けるのだから、行政の仕組みも考えていかなければならない。大きくなるからこそ地域の小さな福祉を支えたい。

ホームタウンいわた インターネットのホームページを中心に活動してきた。いわたブランド

の活用や地元の芸人さんもバックアップした。地域にはそういうものがいっぱいある。それを核にしたい。

竜洋国際交流協会 竜洋町の国際交流ではイモ堀やパーティをやってネットワークを広げた。国際交流は新市では一つになると思っ活動している。

竜洋には現在NPO法人はない。合併



によってボランティア活動がより一層活発になる期待感はある。若い人が集まって地域の起爆剤になってほしい。キーワードは「おまつり」。豊遊 町にはそれぞれのポ

ランテニア活動のグループがある。私たちは

単なるサークルではなく行政でもない。もう一つの組織としてNPO法人を立ち上げた。

まちづくりは健全育成を目指しライブ、防災等いろんなジャンルでやっている。

しぎじ土曜倶楽部 NPO法人の誕生は静岡大学に負うところが多い。教授たちが学生を派遣してくれた。それぞれに別の形で活動しているグループもある。みんなが地域を盛り上げようとしている。

まちサポA 心と心がつながっていくような結び方が大切。自分たちの活動の延長線上でつながるのが良いと思う。視点を広げた無理のないネットワークづくりをしたい。

ふくでハッピーハンス 会員は磐田、浜北と各方面に広がっている。もともと福田だけという意識はない。合併したとき「福



田」という名前を忘れないでほしい。福祉の勉強をしているが、活動をしている中でつながりができていく。行政に頼らなくてもできるようなれたらいいと思う。

見付宿を考える会 活動して十年になる。寺院が多いまちなので今では忘れ去られようとしている「緑日」を計画した。見付だけでなく他町村から大勢の人が来てくれた。見学に行ったり来たりして新しい出会いが始まる。

まちサポB ネットワーク化は良案。まちづくりはネットワークづくりが大切であるが仲介役も必要。合併後のボランティアやNPOの育成という誰がやるのか。フレーズだけでは人は動かない。

磐田ユネスコ協会 まちづくりに関してテーマが大きすぎると参加のしようがない。同一目的同士が協力し合うのが本筋。

まちサポC やって楽しければいい。皆さんに受け入れられれば、輪は自然と広がっていく。それぞれの団体が自由に活動することが共通項と想っている。

司会 各町村のよいところを持ち寄って合併したいものです。貴重なご意見ありがとうございました。

新磐田市NPO法人会議

来年四月に合併を目指す新磐田市にはNPO法人が申請中を含めて十一団体活動しています。九月二十五日(土)磐田NPO交流センターにて、初めての顔合わせ会が実施されました。

しきじ土曜倶楽部・豊岡村

地域の子供たちのサポート。英語とパソコンを生徒に教えている。公共の場での躰もっている。

豊遊・豊田町

地域の文化や歴史、芸能館などを利用した活動をしている。町から委託を受けて観光の実態調査も実施。資金面は企業の援助や自分たちで賄っている。

ふくでハッピーハンズ・福田町

現在法人申請中。年内に認証を受ける予定。障害を超えて老若男女を交えて、サークル活動を行っている。

磐田剣道連盟・福田町

事業は磐田剣道大会、県の昇段審査は初段から三段までの段位認定。剣道連盟の拠点確保が課題。

磐田ふれあい基金協会・磐田市

ボランティア団体の育成の

ため助成金を交付している。高齢者・障害者夢サポート事業、理美容サービス紹介事業、献血啓発と日赤協力事業などが主な活動。



ふれ愛ひろばくすの木・磐田市

精神障害者の自立支援。パンを作りながらのボランティア活動。パンは行政の応援を得ながら販売している。

磐田体育協会・磐田市

スポーツの振興や健康づくりを目的にスポーツ大会や、教室を実施。ジュビロメモリアルマラソンも定着してきた。

磐田市のスポーツ施設の管理運営の委託を受けている。

桶ヶ谷沼を考える会・磐田市

今年の四月に市が建設した桶ヶ谷沼ビジターセンターを拠点に、絶滅危惧種ベッコウトンボ保護のための生息数調

査や親子ザリガニ釣り大会を実施。来年度は全国市民トンボサミットを桶ヶ谷沼で開催する。

(欠席) 磐田NPOサポートセンター・磐田市 こども森・磐田市 クリエイティブ2021・福田町

交流フォーラム2004

磐田ハートフル実行委員会共催

十一月七日(日)ワークピア磐田において、合併を控えた新しい磐田市のボランティア環境について討論会(磐田ハートフル実行委員会主催)が行われました。これは、磐田青年会議所を主管として、一年間に四回の大きな事業を実践してきた最後のもので、討論会に先立ちアイルランドス

ペシャルオリンピッククスの日本ホストタウンにおけるダウン症女児のドキュメンタリ映画が上映され多くの方が感動を共有しました。

討論会には、堀内磐田ボランティア連絡推進協議会会長、村上磐田NPO活動推進協議会副会長、大橋こんぱすの会(自閉症のこどもたちの会)会長が参加し、こんぱすの会からは、自閉症の子をもつ親



として、「障害は一生続くもの。近隣に支援・トレーニング施設が必要」と行政の理解と期待を述べました。ボランティア協議会からは、「今日の映画をきっかけに互いに理解を深め動けるようにしたい。磐田市のスポーツのまちづくりは、障害者部門を含めた取り組みとしたい。総合福祉センター建設が議論されているが、拠点づくりとして関係団体の意見を聞きながらその後の運営にも参加できるようにしていきたい」とさらに踏み込んだ意見がありました。NPO協議会からは、「市民活動支援センターとして、ボランティア・NPOにこだわらず多種多様な市民活動の手助けをしたい。広報誌・ホームページといったものを利用し、広く市民へ情報発信をする役目を担っていききたい」との意見がありました。実行委員長でもある古

田J.C理事長は、「新磐田市でボランティアの大きな輪を作れるように今後も活動していきたい」とこの会を締めくくりました。総評として鈴木磐田市長は、「援助には、自助・公助・協力の教訓がありニーズにあったかゆいところに手の届く活動をすることが大切。総合福祉センター建設については、新磐田市の最重要項目の中にあり、合併したら早々に手がける努力をする。福祉社会は参加型なので皆の手で作り上げるのが望ましい」と述べました。



前出のまちづくり会議やこの討論会のように市民自らが行動をしていこうという機運が高まっているのを感じています。

まちづくりの現場から

視察..

神奈川県大和市・藤沢市 「市民活動推進条例」と 「市民活動推進センター」

磐田NPO交流センター利用者十五名で、七月十二日(月)神奈川県の大和市(人口二十二万人)と藤沢市(人口三十二万人)を視察してきました。両市とも「市民活動推進条例」ができています。今回は、その条例の内容と合わせてセンターの運営について学びました。



大和市

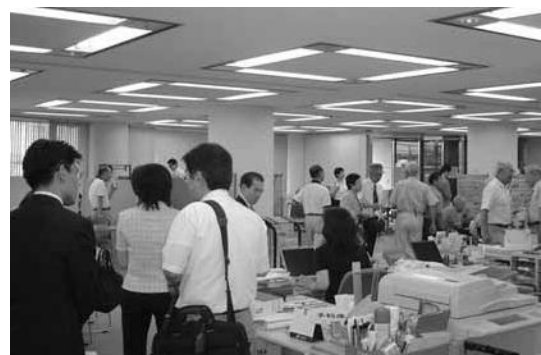
大和市は、「市民・市民団体・事業者・市などみんなで知恵や力を出し合いながら、課題解決に取り組んでいこう」と

いう考え方(新しい公共)

を取り入れ、平成十四年に市民活動推進条例を施行しました。平成十二年より行政主導ではありましたが、市民活動団体の実態調査や協働推進会議・協働ルール検討会議を重ねてきたことで、市民主体の市民の言葉による条文ができました。関わってきた行政職員の前向きな姿勢が感じられました。本年十月三十日にはNPO支援センターが大和駅前が開所しました。

藤沢市の「市民活動推進センター」は、公募により三年間「NPO法人藤沢市市民活動推進連絡会」が市からの委託を受けて運営していました。公共交通の利便性にも富み、利用者が多い点に受託団体の運営努力を感じ取ることができました。しかし、条例については、施設の設定条例のよ

うに感じました。両市とも条例の中に、市民活動を進めていく上で行政の役割(責務)市民の役割、事業者の役割を明確にしているところに行政と市民の協働によるまちづくりの意義を感じ



藤沢市の市民活動推進センター

ました。また、対応してくださった担当の方の熱意が十分伝わり、今後新磐田市での市民活動を考えていく上で、条例や、交流センターの運営も含め、大変勉強になった一日でした。

まちづくりサポーター 「ふれあい広場」に初参加

十月三十一日(日)第二十五回「ふれあい広場」が磐田市今之浦市有地で開催され、例年になく多くの来場者で賑わいました。(ふれあい広場実行委員会・磐田市社会福祉協議会・磐田ボランティア連絡推進協議会主催)子供からお年寄りまで、障害を持つ人も持たない人もみんなが楽しくふれあい、理解しあうことを目的としたイベントに五十を超

える協力団体と中学・高校生など多くのボランティアが参加しました。

まちづくりサポーターは、「ふれあい広場」に初めて参加、協力しました。これまでも個人の技能をPRすると共にまちづくりやボランティア活動に関わって来ましたが、このような活動は、今年二月の天平のまち市民ギャラリーでの技能展に続くものです。

ステージでは、外国人との交流や異国の文化の紹介をしようとして、ブラジル人学校「エスコラニッポブラジレイラ」の色鮮やかな民族衣装をつけた子供たち十八名によるサンバダンスが行なわれ、来場者の手拍子一つになって大い



エスコラニッポブラジレイラのステージ

に盛り上がりました。テントでは、スーパードンボに人が集まり親子で夢中に飛ばして楽しんでいました。



まちづくりサポーター ブース

折り紙の風車や紙トンボは事前にサポーター十数名が約三百本作って準備したもので、子供たちは喜んで持ち帰っていました。気功のコーナーでは肩こりや腰痛、膝の関節痛に悩んでいる人たちの応対に追われていました。また、磐田産のさとうきびも無料で配られました。懐かしさを味わっていました。このブースは終始親子連れで賑わっていました。まちづくりサポーターはお互いに支え合う精神を大切に新市におけるまちづくりやボランティア活動の推進役となっていたのだと思います。

団体紹介

ふくでハッピーハンス

代表 菅原 耕司

事務局 福田町福田六九二一

TEL〇五三八(五五)〇三四八

設立 平成五年十月

構成 一〇六名

(男三十五名、女七十一名)

活動目的・活動内容

障害の種別や有無・年齢に関わらず、交流会や手話の歌、農作業などを行い、ノーマライゼーションの実現に向けて活動を行っています。NPO法人取得(十二月認証予定)後は障害児・者の一時預かりや生活支援などを開始する予定です。

年会費 正会員五〇〇〇円

賛助会員一〇〇〇円 子ども

賛助会員五〇〇円 行事のみ

の参加も自由。だれでも大歓迎。



手話の歌

「ノーマライゼーション」
あらゆる人が普通に快適にすごすことができること

企画展「天竜川の民俗文化と後藤総一郎」

日時 平成16年12月18日(土)～平成17年1月16日(日)
平日 9:00～18:00
土日 9:00～17:00
休館日 月曜日・祝日・年末年始

オープン記念講演会

日時 平成16年12月18日(土) 13:30～15:30

講師 近畿大学教授 野本寛一氏

テーマ 「天竜川流域の民俗文化」

会場 磐田市立図書館

主催・問合せ 遠州常民文化談話会
☎0538(33)7563 中山

情報募集!!

みなさんのまちの「まちづくりの情報」を掲載します。お気軽にご連絡下さい。

問合せ 磐田NPO交流センター
☎0538(36)1890(FAX共)

INFORMATION

お正月の行事食

日時 平成17年1月15日(土)13:00～
会場 磐田市立見付公民館
料理実習室
内容 お正月の行事食 七草粥・鏡開き
参加費 300円
主催・問合せ 学校給食を考える磐田の会
☎0538(32)1504(夜) 千葉

子どもかべ新聞展示

日時 平成17年1月23日(日)～1月30日(日)
会場 磐田市立図書館
内容 各子ども会の活動の様子をかべ新聞にして展示する
主催 磐田市子ども会世話人連合会
問合せ 事務局(磐田市生涯学習課内)
☎0538(35)4325 田村

祝磐南合併! グラウンドゴルフ大会

①磐田市広域親睦グラウンドゴルフ大会
日時 平成17年2月21日(月) 9:00～12:00
雨天の場合は24日(木)
主催 磐田みくりやグラウンドゴルフ友の会
協力 磐田グラウンドゴルフ倶楽部
②磐田市長杯争奪グラウンドゴルフ大会
日時 平成17年3月17日(木) 9:00～12:00
雨天の場合は21日(月)
主催 磐田グラウンドゴルフ倶楽部
会場 磐田市今之浦市有地広場(両日共)
問合せ ☎0538(32)3693(FAX共)海老江

全国国分寺サミット報告会

日時 平成16年12月25日(土)14:00～
会場 磐田NPO交流センター
講師 磐田市文化財課長 徳橋伸一氏

遠江国分寺を考える会研修会

日時 平成17年2月12日(土)10:00～
会場 磐田市立中泉公民館
講師 遠江国分寺を考える会 会長 佐藤俊三氏
内容 遠江国分寺の変遷
主催・問合せ 遠江国分寺を考える会
☎0538(32)3309 大場

第12回 チャリティーコンサート

日時 平成17年2月20日(日)13:30～
会場 福王寺(磐田市城之崎)
内容 「冬から春へ」箏合奏
チケット代 1人1,800円
主催 NPO法人磐田ふれあい基金協会
NPO法人健康文化クラブ
問合せ ☎0538(35)6559 磯部

中国植林キャンペーン

日時 平成17年3月中旬予定
場所 中国中部地帯山林
内容 中国緑化局(日本の農水省)と日本政府との10ヶ年緑化事業として実施。
主催 財団法人オイスカ
問合せ オイスカ静岡県支部磐田天竜支局
☎0538(35)3794 三田

「筆文字」講座 1月～6月

月2回(金)9:30～11:30 会費1,800円/月
「占い」講座
1月14日(金)・1月28日(金)
2月18日(金)・2月25日(金)
10:00～11:30 会費2,000円(全4回分)
会場 磐田市立見付公民館
主催 NPO法人健康文化クラブ・見付公民館
問合せ NPO法人健康文化クラブ
☎0538(23)8186(FAX共)山鳥

限りある資源を大切にしましょう

日時 毎月第4土曜日 9:00～10:00
場所 磐田市役所正面玄関前
内容 「広告紙」や「カタログ」などの上質紙をトイレットペーパー等と交換 5kgで白色の紙紐で縛る/1個
主催・問合せ 消費研究グループいそじ会リサイクル部
☎0538(35)8264 安間

静岡産業大学の学生による

地域おこしカフェ
BIRTH・PLACE 12月7日(火)オープン
ジュビロード元スルガ銀行北へ2軒目

編集後記

今年度からボランティア連絡推進協議会の理事として、ふれあい広場や委員会活動のお手伝いをしていきます。来年度の合併に向けてこの組織も変革の時を迎えています。まちづくりには様々な分野があること・近隣市町村といえども運営の違いなどを改めて感じています。十一月七日の公開討論会では、NPO活動推進協議会ができることとして多くの市民にジャンルを超えた情報を提供することと話させてもらいました。少しでも興味を持ったまちづくり活動の情報を何気なく知ることができ参加のきっかけをつくること。この通信もその一助となれば良いと思います。産大の学生カフェが駅前にできます。みんなでお茶飲みにいきましょう。

「村上」

●磐田NPO交流センター通信

第十一号

平成十六年十一月一日発行

●発行者/磐田市総務部地域振興課

〒四三八八六五 磐田市国府台三十一

TEL(〇五三八)三七四八一一

●編集/磐田NPO活動推進協議会

〒四三八〇〇八 磐田市中町町二二四

TEL(〇五三八)三六一八九〇

E-mail:iwata-npo@a.tncc.ne.jp